

ウポポイ  
NATIONAL IDU MUSEUM and PARK  
民族共生象徴空間令和4年3月11日  
室蘭開発建設部 広報官いのちとくらしをまもる  
防災減災

報道機関各位

## 国道453号<sup>ばんけい</sup>蟠溪道路の一部区間が開通します

### ～<sup>きょうあい</sup>狭隘区間が解消され道路の安全な通行を確保～

室蘭開発建設部が整備を進めている国道453号 蟠溪道路（全体延長5.4km）のうち、有珠郡壮瞥町蟠溪地内における延長0.7kmの工事が完成し開通しますので、下記のとおりお知らせいたします。

同事業では引き続き、事業中区間の工事を行いますので、道路利用者の皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、御理解と御協力をお願いいたします。

#### 記

1. 開通区間 国道453号 蟠溪道路（全体計画5.4km）のうち  
有珠郡壮瞥町蟠溪地内 延長0.7km
2. 開通日時 令和4年3月18日（金）午前11時
3. その他 工事の進捗により開通日を変更する場合があります。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部 電話 0143-22-9171

道路計画課 課長 仁平 陽一郎（内線 351）

広報官 西村 敏之（内線 212）

室蘭開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/mr/>



# 国道453号 蟠溪道路

## 延長0.7 km

### 令和4年3月18日（金）開通

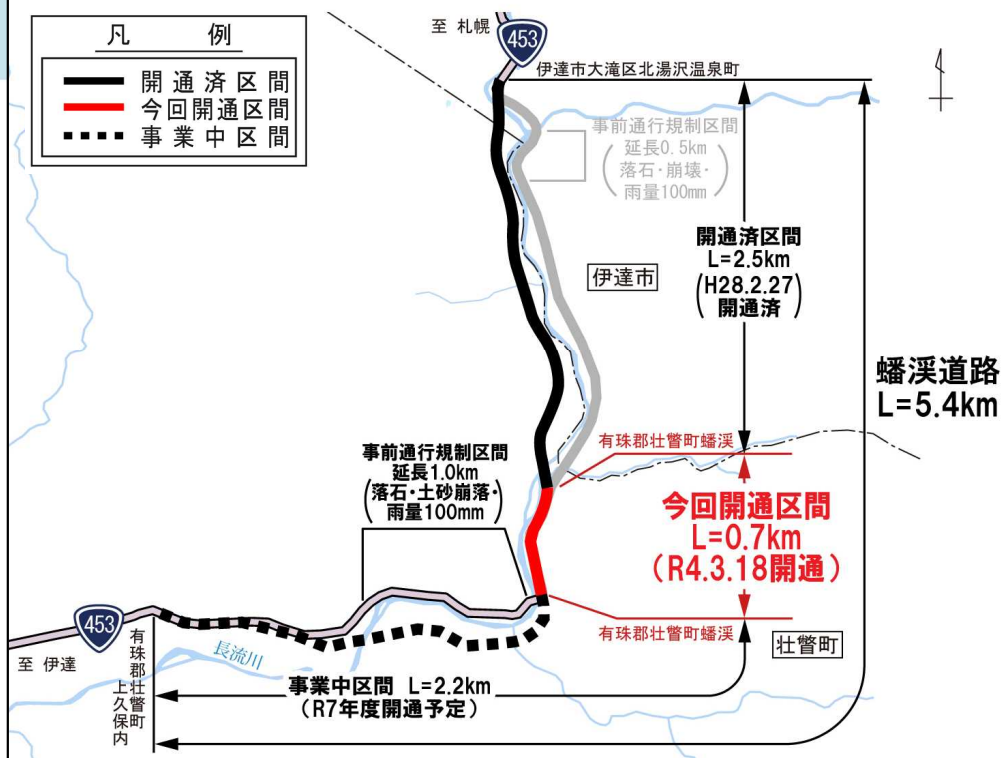
- 国道453号は、札幌市を起点とし、千歳市を經由して伊達市に至る幹線道路です。
- 蟠溪道路は、伊達市から壮瞥町を結ぶ路線の落石、土砂崩落等の災害危険箇所や事前通行規制区間、隘路区間の解消を図り、道路の安全な通行の確保を目的とした延長5.4kmの事業です。
- このうち壮瞥町蟠溪地内における延長0.7km区間の工事が完成し開通します。

#### 事業概要



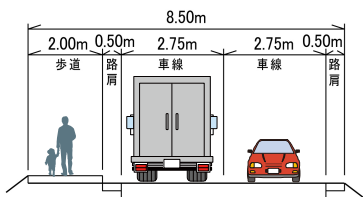
#### 事業の概要

凡 例	
	開通済区間
	今回開通区間
	事業中区間

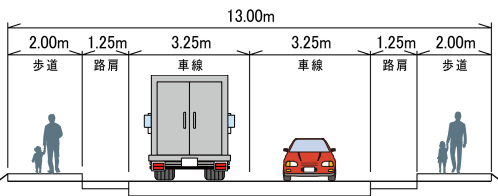


#### 標準断面図 (今回開通区間)

【整備前】



【整備後】



# 道路交通の安全性や走行性の向上



## 国道453号 蟠溪道路

- 当該道路には、防災上の災害危険箇所（16箇所）、事前通行規制区間（2区間）のほか、急カーブ箇所（12箇所）、急勾配区間（7箇所）が存在しており、特に、H12.4.22に発生した大雨による大規模な土砂崩れでは、約2週間、全面通行止めになり、地域の産業、観光、救急医療、日常生活等において大きな影響が発生しました。
- このうち、開通済区間(H28.2)および今回開通区間の整備により、災害危険箇所(11箇所)、事前通行規制区間(1区間)、急カーブ箇所(6箇所)、急勾配区間(5箇所)を回避することで、通行止めの発生が大幅に減少、幅員も拡幅されたことで走行時の安全性や走行性が向上します。
- 今後、残りの事業中区間の整備により、事前通行規制区間や隘路区間を回避することで、地域の産業、観光、救急医療、日常生活などでの移動における安全性や走行性の更なる向上が期待されます。

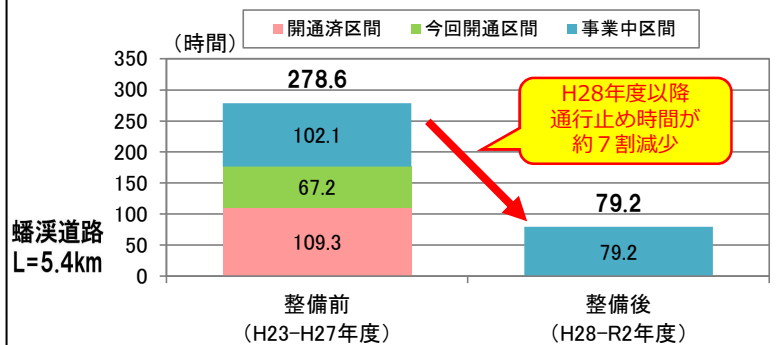
### 当該道路における課題



### ●当該道路の課題箇所数

	H28開通済区間	今回開通区間	事業中区間	計
●:災害危険箇所	11箇所		5箇所	16箇所
□:事前通行規制区間	1区間		1区間	2区間
●:急カーブ(R≤150)	5箇所	1箇所	6箇所	12箇所
■:急勾配区間(i>5%)	5箇所		2箇所	7箇所

### 通行止め時間の推移



注) 落石・土砂崩落に関わる通行止め時間を集計

声

#### ■バス事業者の声

- ・H28.2の一部開通により通行止め回数が減り、安全・確実に運行できるようになった効果は非常に大きいです。
- ・開通前の道路は狭くてすれ違いが困難だったため、安全性が大きく向上しました。



声

#### ■壮瞥町役場の声

- ・事業中区間が大雨による落石や土砂崩れ等により通行止めになると、沿線住民の日常生活のみならず、救急医療や物流などに大きな影響を与えるため、安全な通行ができるよう、早期の全線開通を期待しています。



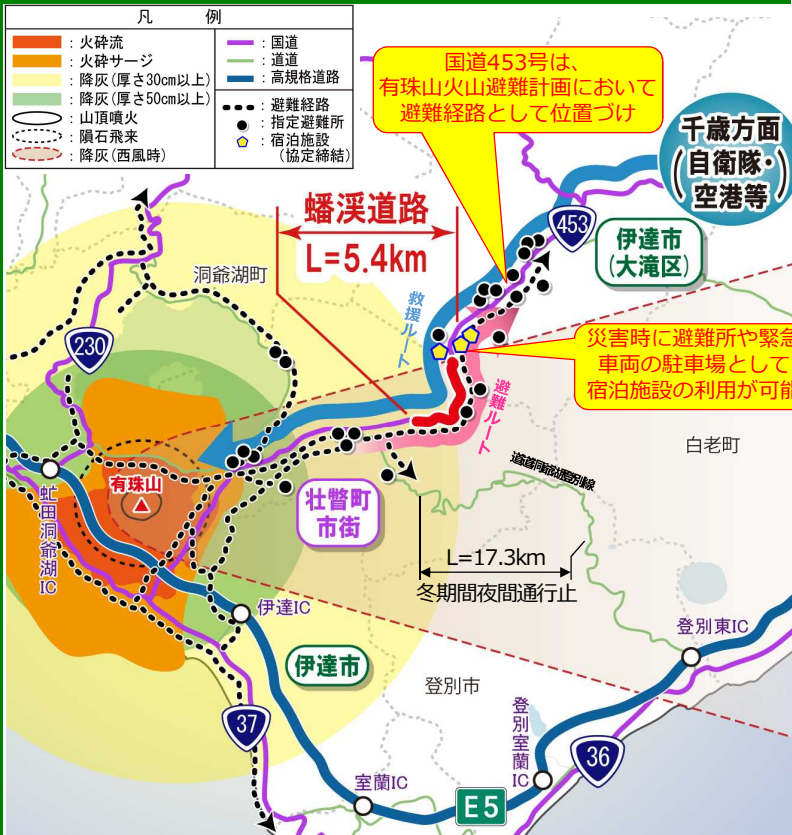
# 有珠山噴火時の緊急輸送ルート強化



## 国道453号幡溪道路

- 常時観測火山である有珠山は、前回噴火した平成12年までにおよそ20～30年周期で噴火が発生しています。
- 噴火時の緊急輸送ルート及び住民の避難路となる国道453号は、住民の避難や救助活動等における交通混雑や気象条件による通行止め等が懸念され、円滑・確実な避難及び救助活動等ができる環境の確保が求められています。
- 当該道路の整備により、有珠山噴火時の緊急輸送ルートが強化され、住民の円滑な避難や自衛隊等による迅速・確実な救助活動等の確実性が向上することが期待されます。

### 有珠山頂噴火の危険区域予測図（火砕流・噴石・降灰）



資料：有珠山火山防災マップ（R3.4）、有珠山火山避難計画（R3.7）

#### 声 ■ 壮瞥町役場の声

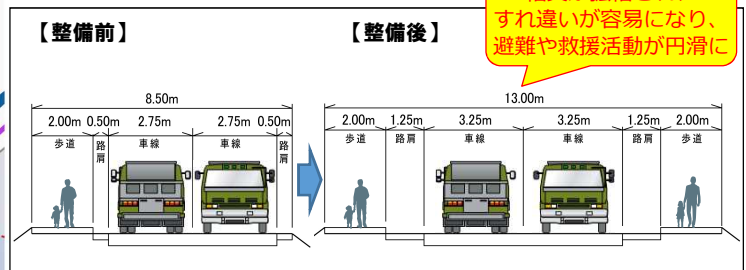
- ・ 国道453号は、壮瞥町から大滝区方面への避難路としての役割や、自衛隊の救助活動における緊急輸送ルートとして重要な役割を担うものと認識しています。
- ・ 災害時においても安全・確実に避難・通行できるよう、当該道路の早期整備を期待しています。

### 有珠山噴火の歴史

噴火の時期	前回噴火からの間隔	噴火の場所 災害の種類	主な被害
1663年	数千年	山頂噴火 火災サージ・降灰	降灰で家屋が焼失 死者5人
17世紀末	約30年	※詳細不明 火災サージ・降灰	※詳細不明
1769年	約70年	山頂噴火 火砕流・降灰	火砕流で家屋火災
1822年	52年	山頂噴火 火砕流・降灰	火砕流で集落全焼・集落移転 死者82人・負傷者多数
1853年	31年	山頂噴火 火砕流・降灰	事前避難で死傷者なし
1910年	57年	山麓噴火（北麓） 熱泥流・降灰	熱泥流で死者1名 降灰で山林・耕地被害
1943年から 1945年	33年	山麓噴火（東麓） 火災サージ・降灰	降灰で幼児1人窒息死 地殻変動で山林・耕地被害
1977年から 1978年	32年	山頂噴火 火災サージ・降雨型泥流・降灰	降雨型泥流で死者・行方不明者3人 降灰・地殻変動・泥流の被害多数
2000年	22年	山麓噴火（北西麓） 火災サージ・熱泥流・降灰	事前避難で死傷者なし 地殻変動・熱泥流・噴石で道路・建物被害

資料：伊達市HP

#### ● 当該道路の幅員構成



#### トピック

### 伊達市と宿泊施設が、災害時の施設利用に関する協定を締結

- ・ 伊達市は、令和3年10月1日、災害時の宿泊施設の利用に関する協定を締結。
- ・ 指定避難所等の公共施設のみで避難者を収容できなくなった場合、伊達市大滝区にある3つのホテルを避難所や支援物資の集積場所、災害対策支援車両の駐車場として臨時使用が可能に。

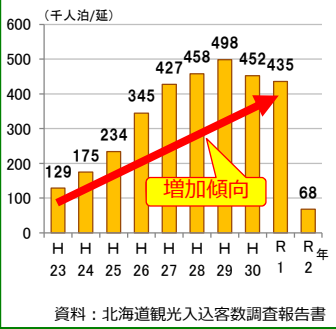
# 広域的な周遊観光の活性化を支援



## 国道453号 蟠溪道路

- 毎年多くの観光客が訪れる洞爺湖エリア（伊達市、壮瞥町、洞爺湖町、豊浦町）には、くだもの狩り、温泉、キャンプ場など多様な体験スポットが立地しているほか、シーニックバイウェイ北海道支笏洞爺ニセコルートとして沿道景観の整備が進められており、当該道路は、道央圏と洞爺湖エリアを結ぶ主要な観光ルートとなっています。
- 洞爺湖エリアでは観光客が増加傾向にあり、また、令和3年7月、北黄金・入江・高砂貝塚を含む縄文遺跡群が世界文化遺産に登録されたほか、令和5年にはアドベンチャー・トラベル・ワールド・サミットの道内開催が予定されるなど、今後の観光活性化に向け、地元の機運も高まっています。
- 当該道路の整備により、新千歳空港など道央方面から主要観光地へのアクセス性が向上し、広域的な周遊観光の活性化を支援します。

### 洞爺湖エリアの外国人宿泊客延数の推移



### 洞爺湖周辺地域への観光周遊ルート



**声** ■ 洞爺湖温泉観光協会の声

- ・当該道路を含む国道453号は、新千歳空港や苫小牧方面から洞爺湖へアクセスする際の最短ルートであり、支笏洞爺国立公園内を巡る観光ルートの主動線となっています。
- ・縄文遺跡群の世界遺産登録や、アドベンチャートラベルワールドサミットの開催を見据えた企画を検討中であり、コロナ禍で打撃を受けた地域の観光活性化に向け、早期整備を期待しています。

**トピック** 旧大滝中学校を活用した体験型アクティビティ施設の整備

- ・平成31年3月に廃校になった旧大滝中学校を活用した体験型の観光施設の整備をNPOが計画中。
- ・体育館にトランポリンやチューブスライダー、屋外にバギーコースを整備し令和5年度のオープンを予定。中高生をターゲットに年間3.5万人の来場を見込んでいる。

写真：JOMON ARCHIVES (伊達市教育委員会所蔵)

アドアクション内容(例)

- ① メイントランポリン
- ② バフォーマンストランポリン
- ③ トランポリンジャンク
- ④ ウォールトランポリン
- ⑤ 球が抜けるアドアクション
- ⑥ グラフ橋
- ⑦ エアバグジャンプ
- ⑧ チューブスライダー

※ 構築までに内容変更する場合があります。

資料：伊達市大滝総合支所提供資料